バドミントン競技実施要項

1.競技規則　大会開催年度の(公益財団法人)日本バドミントン協会競技規則並びに公認審判員規程、大会運営規程による。但し、参加人数によりポイント制限を行うことがある。

2.競技種目　男子・女子ともシングルス及びダブルスと混合ダブルスの5種目とする。
※ただしエントリー状況により、変更する場合がある。

3. 参加資格　(1)男子・女子シングルス及び各ダブルスについての参加人数の制限はしない。
(2)ダブルスのペアについては基本的に同一加盟団体内での組むこと。しかし、各タブルス種目余剰の選手一名については、加盟団体参加選手と組むことを認める。(ダブルス同意書は、選手登録申請と同様、通常締め切りとする)

4. 競技方法　各種目とも予選リーグ戦、決勝トーナメント方式及び三位決定戦で行う。但し、参加状況により、トーナメント方式でことがある。競技方法の決定は競技主管で行う。
※リーグ戦順位決定基準
①勝ち試合(対戦)1点、負け試合(対戦)0点、棄権または没収試合(対戦)－1点とし、点数合計の多い選手を上位とする。
②勝ち点合計が2選手以上同数の場合は次の方法により順位を決める。
全試合(対戦)の取得ゲーム総数をA喪失ポイント総数をBとし取得ゲーム率C=A/ (A＋B)の高い選手を上位とする。
③取得ゲーム率が同数の場合は、次による。
全試合(対戦)の取得ポイント総数をD、喪失ポイント総数をEとし取得ゲーム率F=D/ (D＋E)の高い選手を上位とする。
④上記①から③の計算によっても順位が決められない場合は抽選により順位を決める。

5. 使用シャトル　(公益)日本バドミントン協会第一種検合格品となる。

6. 組み合せ抽選　(1)参加申込締切後、実行委員会においてレフェリー会いのもとで、代理抽選により決定する。
(2)男女シングルスは前回4位まで、ダブルスは前回2位までをシードする。

7. 表　彰　各種目とも、競技終了後閉会式において行う。

8. 競技服装　(公益)日本バドミントン協会が公認するもので、背面には都道府県名を入れたものを推奨する。
(日本バドミントン協会大会運営規定第23～24条参照。)
(1)公益財団法人日本バドミントン協会競技規則に則って背面表示にする。
(2)ゼッケンを使用する場合には4点留めとする。
(3)背面中央には必ず都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。
(4)スポンサー、チームデザインを入れないこと。

都道府県

たて 15cm
よこ 30cm　　※白地に黒字

9. 注 意 事 項　(1)選手はコールを受けた後、5分以内にコールに入れること。
(2)審判員の判定にして疑問のある場合は当該プレーヤーに限り質問することを認める。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
(3)進行状況により試合開始時間・日程及びコートの変更をすることがあるので、場内放送(掲示)に充分注意すること。
(4)プレーヤーは次の行為をしてはならない。
①プレーヤーを故意に遅らせたり中断したりすること。
②シャトルのスピードや飛び方を変えるために、故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
③シャトル交換をするためにシャトルを手で潰すこと。
④見苦しい服装でプレーしたり、審判員や観客に対して横柄な振舞いをしたりするような、下品で無礼ね態度、言動。
⑤ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩く、耳障りな掛け声や叫び声を発するなど、競技規則を超えた不品な行動。
(5)競技会場内におけるコーチ席利用は参加登録者のみ許可する。

10. 本要項の改正
・ 一部改正　2016年1月15日